

て、る、日、も、ま、た、ぬ、朝、顔、の

ま、こ、と、の、道、を、打、は、な、れ

あ、は、れ、高、き、も、賤、し、き、も

雲、井、の、庭、も、玉、敷、も

心、の、な、さ、け、ふ、か、く、し、て

わ、ら、や、の、床、も、蓬、生、も

浮、世、の、ち、り、を、立、ち、は、な、れ

つ、れ、な、く、す、て、ゝ、あ、だ、し、世、に

や、を、ら、角、笛、と、り、出、で、ゝ

か、た、へ、の、犬、の、立、つ、な、べ、に

杖、を、あ、げ、つゝ、守、の、男、は

か、へ、り、喜、ぶ、小、羊、の

か、す、か、に、ひ、く、入、相、の

さ、び、し、き、牧、の、夕、ぐ、れ、は

ま、ば、し、の、は、え、を、ま、た、ひ、つ、い

や、み、よ、り、や、み、に、迷、ひ、行、く

足、る、を、し、知、れ、る、心、に、は

う、ら、や、む、こ、と、は、あ、ら、ざ、る、を

中、の、む、つ、び、の、あ、つ、け、ら、ば

つ、ゆ、も、い、と、ひ、は、せ、ぬ、も、の、を

の、ど、け、く、住、め、る、我、宿、を

迷、へ、る、君、が、悲、し、さ、よ』

一、聲、た、か、く、ふ、き、な、せ、ば

羊、の、む、れ、は、販、り、來、ぬ

入、日、の、岡、を、さ、し、行、け、ば

こ、ゑ、も、狭、霧、に、う、も、れ、け、り

鐘、よ、り、外、に、聲、も、な、く

枯、葉、を、わ、た、る、風、寒、し。

俳句

入る月に社の獅子の寝ざめ顔

夜更けて嵐に白し天の川

梓 氷 川

明月の夜更けて路に網うねり  
 月落ちて大滄溟の波暗らし  
 秋かなし喇叭にかすむ城の暮  
 秋淺き日影にのこる暑さかな  
 月の夜は猶身にまむや萩の聲  
 照るとしもなき宵月や薄紅葉  
 置く露になやむ姿の小萩かな  
 夜もすがら聞あかしけり秋の雨  
 ふき拂ふ衣手さむし秋のうせ  
 茸狩のもどりは手柄ばなしかな  
 朝顔の露よりもろき命かな  
 藻汐たくこゝも浦なり須磨明石  
 秋風や荒野のはてに矢一筋  
 夢破る聲一引や月の鹿  
 秋の山同行ひとり失ひぬ  
 槌音の月にみだるゝ礎かな  
 淋しさを散てまぎらす柳かな  
 幼子を畚の片荷や稻の秋  
 旅に寝て初鴈遠く聞く夜哉  
 墨染の袖も濡らすや菊の露  
 静かさや芭蕉を破る夜の雨

戀

花

蝶

二